

山峡の夜空に花が舞う 十王雪まつり



2月6日、山峡の里交流広場で「十王雪まつり」が行われました。十王青年の集まりの会が中心になって開催されるこのまつりは今回が4回目。今年が目玉は夜空に輝く花火。大きな歓声とともに73発の花火が打ち上がりました。また、恒例となった創作雑煮合戦は、6地区に加え荒砥高校も参戦して行われました。今年の共通食材は「岡の台ごんぼ」で、投票の結果、初参加の荒砥高校が見事優勝を飾りました。

万が一に備えて 文化財防火防火訓練



1月26日、「文化財防火デー」に合わせて、鮎貝八幡宮で防火訓練が行われました。神社総代、自衛消防団、地元のかたがたなど関係者約40人が参加し、神社内で防火祈願祭を行った後、境内に設置されている2つの消火銃を使って実際に放水しました。例年にない大雪のため、放水作業も大変な様子でしたが、放水を担当した自衛消防団のかたがたは真剣な表情で取り組んでいました。

自分の課題がはつきり 荒砥高校職場体験学習発表会



2月5日、産業センターで荒砥高校の職場体験学習発表会が行われました。昨年9月15日から19日のうちの3日間、2年生58人が町内32の事業所で職場体験し、体験を通して見えた自分の課題や今後の生活に活かすべきことなどを自らが作成した資料を使って発表しました。発表会当日は、高校生を受け入れた14の事業所の代表のかたや1年生も参加し、それぞれの発表に耳を傾け、メモなどをとっていました。

地区民の願いが叶いますように 交通死亡事故ゼロ継続へ安全祈願祭



1月21日、瑞岩寺で鮎貝地区交通死亡事故ゼロ3500日を目指す安全祈願祭が行われ、関係者約20人が参加しました。鮎貝地区では、平成13年度に交通事故が多発したため地区民が一丸となって交通死亡事故ゼロ運動を開始し、昨年4月9日に3000日を達成しました。鮎貝地区公民館では、地区民が願いを込めて作った折り鶴が毎日一羽ずつ吊り下げられており、1月21日現在3287羽となっています。

啓翁桜の販路拡大へ

2月8日と9日、「サンファームしらたか」が農協と連携し、名古屋と大阪の花き市場を訪問、啓翁桜のPR活動を行いました。

「サンファームしらたか」の花き市場訪問は毎年行われていますが、今回は特に、関西圏へのPR・普及を重点とし、大阪市内で地元のかたがたに啓翁桜を手渡しながらPRを行いました。

話題のドラマ「冬のサクラ」にも出ている啓翁桜。数は少なくなりましたが、現在も注文を受け付けています。

また、啓翁桜フォトコンテストも実施中ですのでぜひご応募ください。(詳細はホームページをご覧ください。)



出荷作業